

令和7年11月11日（火）南街市民センター

東大和市駅周辺

まちづくり意見交換会（第3回）

開催結果



◆ 開催概要

<意見交換会の目的>

- ・東大和市駅周辺のまちづくりに関して、市と参加者で意見交換を行い、まちづくりの将来像及び実現に向けたロードマップの検討を行うことを目的としています。

<意見交換会（第3回）の開催概要>

開催日時	令和7年11月11日（火曜日） 午後6時30分～午後8時
開催場所	南街市民センター 202集会室
対象者	以下の条件にあてはまる方の中から、応募いただいた皆さま ・市内に在住・在勤・在学している方 ・東大和市のまちづくりに意欲がある方
参加人数	参加者：13人

◆ 意見交換会の流れ

① 開会・挨拶

② 市からの説明

- <テーマ>
- ・意見交換会の趣旨・進め方と前回の振り返り
 - ・「まちの将来像(案)」「まちづくり方針・取組(案)」について
 - ・まちづくりイベントについて

③ 意見交換（グループワーク）

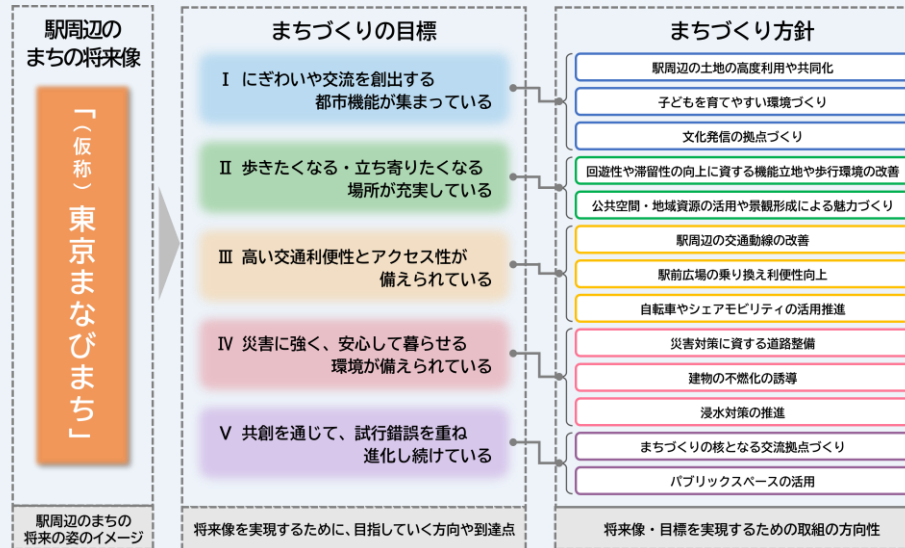
- <テーマ>
- ・「まちの将来像（案）」について
 - ・「まちづくり方針・取組（案）」について

④ 閉会

◆ グループワークの内容

◆参加者は4つのグループに分かれ、「まちの将来像(案)」や「まちづくり方針・取組(案)」について意見交換しました。

<まちの将来像(案)等>



<“東京まなびまち”以外にご提示した「まちの将来像」の案>
“東大和プレイシティ” “STATION CROSSING” “Share-Town”

<まちづくり方針図(案)>



◆意見交換後、グループごとに意見をまとめ、模造紙を用いて発表を行いました。

<発表の様子>



◆ ご意見の要旨（グループA）

「まちの将来像（案）」について

- ◆ 「東京まなびまち」をはじめとした名称案について
 - ・ 「東京まなびまち」は、概ね好意的な評価
- ◆ 東大和市駅周辺の望ましい将来イメージや考え方について
 - ・ ハード整備だけではなく、ソフトを活かした変わるまちづくり
 - ・ 日常的に使える“学び・交流・憩いの場”が充実したまち
 - ・ 魅力的でおしゃれな个性的なお店が集まるまち
 - ・ 子どもが楽しめるまち
 - ・ スポーツを通じた一体感があるまち

「まちづくり方針・取組（案）」について

- ・ 中高生等の学習スペース、子育て世代の親同士の交流の場など、コミュニティスペースがあると“まなび”につながる
- ・ 駅前に飲食店・カフェが必要
- ・ 南街地域の活性化のため、用途地域を見直す
- ・ 5～10年程度で道路や駅前広場の整備を優先的に行う
- ・ 駅前広場にペDESTリアンデッキを整備
- ・ 駅利用者向けの自転車置場は、駅の近くに整備
- ・ 駅前広場の人と自動車の動線を分離し、駅前の交通動線を整理
- ・ 「高架下の夜市」のようなにぎわいを生み出す取組の拡大

<グループAのワークシート>

東大和市駅周辺
まちづくり意見交換会（第3回）
（令和7年11月11日）

グループA

1. 「まちの将来像（案）」について

このワークシートには、グループAのメンバーが「まちの将来像」について話し合った内容をまとめた。中心には「まなびにつながるぞ！」という大きな黄色い吹き出しがあり、その周囲には様々なアイデアが色紙やメモに記されている。また、「この視点もあるよ！」という追加のコメントも見える。

2. 「まちづくり方針・取組（案）」について

このワークシートには、グループAのメンバーが「まちづくり方針・取組」について話し合った内容をまとめた。中心には「スピード感も大事」という大きな黄色い吹き出しがあり、その周囲には「まずはこれをやろう」と「駅前広場が変われば！」などの具体的な提案が記されている。また、「人でもって意味がわかるように」というコメントも見える。

◆ ご意見の要旨（グループB）

「まちの将来像（案）」について

◆ 「東京まなびまち」をはじめとした名称案について

- ・ 「東京まなびまち」は、年代を超えて将来へのつながりを感じられ、幅広い世代のまなびの場を作ることにつながる点が良い
- ・ “まなび” はやや堅い印象があり “プレイシティ” や “あそび”の方が親しみやすい
- ・ “まなび” の中に防災や安全の視点を示せると良い

◆ 東大和市駅周辺の望ましい将来イメージや考え方について

- ・ 駅前が“まちの顔”となる場所になってほしい

「まちづくり方針・取組（案）」について

- ・ 駅前に図書館やコミュニティセンター等の“文化拠点”が必要
- ・ 市民の多様な活動を支える使いやすい環境を整える
- ・ 歩行者・自転車・自動車が安心して移動できる環境を整える
- ・ バスや自家用車で駅にアクセス性の向上が必要
- ・ サイクリング拠点整備により周辺地域への回遊性・流動性を高める
- ・ 使いやすい駅前空間にするため、高架下や駅前広場の使い方など、実際に色々試してみることが必要
- ・ 駅前が目的地となり人が集まる空間づくりが必要

<グループBのワークシート>

東大和市駅周辺
まちづくり意見交換会（第3回）
（令和7年11月11日）

グループB

1. 「まちの将来像（案）」について

This section of the worksheet contains several sticky notes with handwritten ideas for the future city image. The notes are organized into three columns. The first column includes notes like '将来像は、やさしいイメージ' (Future image is a gentle image) and 'プレイシティ' (Play City). The second column has 'まなび' (Mannabi) and '防災・安全' (Disaster prevention/safety). The third column features 'まなびまち Good?' (Mannabi-machi Good?) and '東京まなびまち' (Tokyo Mannabi-machi).

2. 「まちづくり方針・取組（案）」について

This section of the worksheet contains sticky notes with handwritten ideas for city-making policies and actions. The notes are organized into three columns. The first column includes '目標Ⅰ 文化拠点' (Goal 1: Cultural base) and '駅前の文化拠点（図書館、コミュニティ）' (Cultural base in front of station (library, community)). The second column has '目標Ⅱ 交通利便性' (Goal 2: Convenience) and '駅前1/2のアクセス' (Access 1/2 of station). The third column features '目標Ⅲ 交通利便性' (Goal 3: Convenience) and '駅前1/2のアクセス' (Access 1/2 of station).

◆ ご意見の要旨（グループD）

「まちの将来像（案）」について

◆ 「東京まなびまち」をはじめとした名称案について

- ・ 「東大和プレイシティ」は遊び心や活動性を表しており、スポーツ施設や飲み屋が多いというまちの特色にあっている
- ・ 東大和は落ち着いたまちのため、「東京まなびまち」のように“東京”と名乗ることに違和感がある

◆ 東大和市駅周辺の望ましい将来イメージや考え方について

- ・ 多くの人が集まれる駅前空間を備えたまち
- ・ 駅前に学生が学び・交流・滞在できる施設が整ったまち

「まちづくり方針・取組（案）」について

- ・ 学生の居場所となる図書館・学習スペースのほか、飲食（ファストフード・カフェ）、行政サービス、交番などの機能が必要
- ・ 駅前の駐車場・駐輪場を地下化による駅前景観の改善
- ・ スポーツを活かした賑わいづくり（例：スケートセンターへの観客席設置、スケートボード広場の整備など）
- ・ 「高架下の夜市」のような取組を継続・発展させ、高架下の常時開放などによる利用促進につなげる
- ・ イルミネーションなど、写真映えで人を惹きつける取組を実施

<グループDのワークシート>

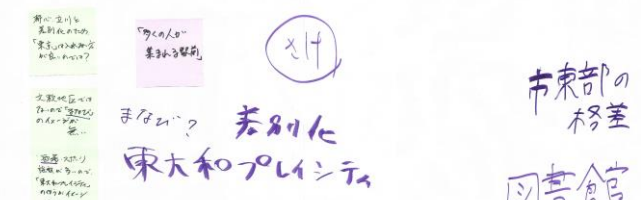
東大和市駅周辺

まちづくり意見交換会（第3回）

（令和7年11月11日）

グループD

1. 「まちの将来像（案）」について



2. 「まちづくり方針・取組（案）」について



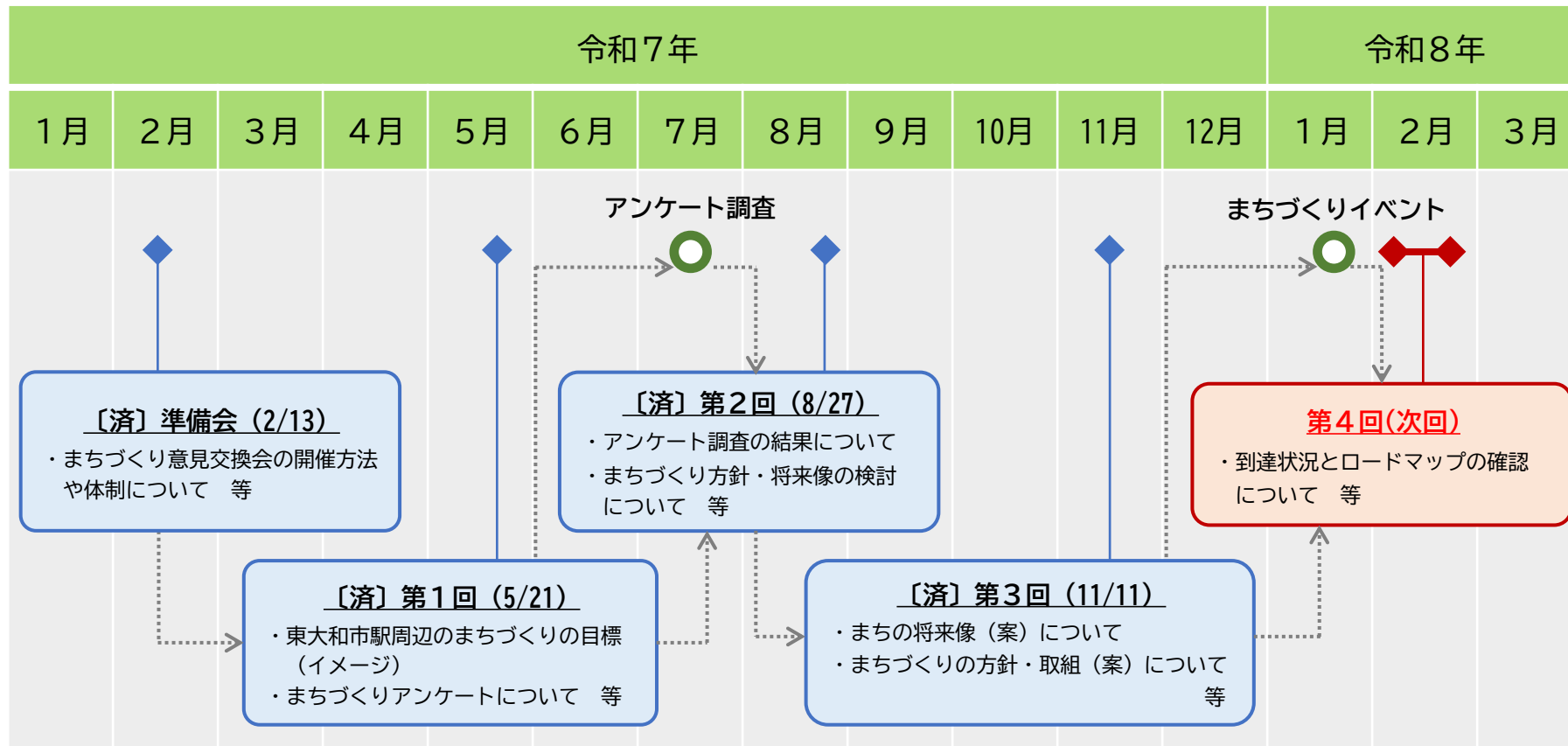
◆ グループワークでの主なご意見のまとめ

テーマ	主なご意見
「まちの将来像(案)」 について	<ul style="list-style-type: none">・「東京まなびまち」は、年代を超えて将来へのつながりを感じられ、幅広い世代のまなびの場を作ることにつながる点が良いなど、<u>好意的な評価が多かったがやや堅い印象</u>を受ける・まちの将来像は、<u>新しさや親しみやすさがあり、遊び心や創造性を取り入れた表現</u>がよい・「東大和プレイシティ」は、<u>遊び心や活動性を表している</u>・駅前に<u>“まちの顔”となる場</u>をつくることが重要・ハード整備だけでなく、<u>ソフトを活かした変わるまちづくり</u>を進める・日常的に利用できる<u>“学び・交流・憩いの場”</u>の充実したまちを目指す・<u>子どもや子育て世代にとっても、魅力的なまち</u>を目指す
「まちづくり方針 ・取組(案)」 について	<ul style="list-style-type: none">・まちに<u>“余白”</u>を残すことで、イベントの開催など<u>市民がやりたいことが実現できる場</u>をつくる・図書館やコミュニティスペース、飲食、行政サービスなど、<u>市民が日常的に利用できる場所</u>の充実・駅前に<u>学生の居場所となる学習スペース</u>の設置や、<u>学生が利用しやすい店舗</u>の誘致・駅前のスケートセンターなどを活かし、<u>スポーツの魅力</u>でまちににぎわいを生み出す・駅前広場や道路を再整備し、<u>歩行者・自転車・自動車が安全に移動できる環境</u>をつくる・個性的な店舗や写真映えスポットを増やすなど、<u>魅力的でおしゃれなまち</u>にする・駐輪場や駐車場の地下化など、<u>駅前に“まちの顔”にふさわしい景観</u>を整える・<u>都市計画道路の整備</u>や<u>用途地域の見直し</u>により、地域に活気をつくり出す

◆ 今後の予定

- 「今年度の検討の到達状況」や「次年度以降のロードマップの確認」等をテーマに、令和8年2月に第4回意見交換会を開催予定です。

<意見交換会等のスケジュール>



まちづくり構想(案)の作成

※スケジュールは現時点での案であり、時期・内容は検討状況等に応じて変更する場合があります。